

---

---

平成22年3月期  
**決算説明会**

---

---

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

理想科学工業株式会社  
平成22年5月10日

# 目次

---

1. 平成22年3月期決算総括	Slide No. 3－5
2. 平成22年3月期業績概要	Slide No. 6－11
3. 平成22年3月期活動サマリー	Slide No. 12－14
4. 中期経営計画“Riso Vision 10” 総括	Slide No. 15－17
5. 第四次中期経営計画“Riso Vision 13”	Slide No. 18－19
6. 平成23年3月期重点課題	Slide No. 20
7. 平成23年3月期業績予想	Slide No. 21－22
8. 株主還元	Slide No. 23

●本資料の記載情報

本資料の表示金額につきましては、切捨てによる百万円単位となっております。

●将来見通しに関わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

# 平成22年3月期決算総括(1)

---

## 2期連続減収

- 売上高: 784億6900万円
  - インクジェット事業(高速カラープリンター)
    - ・国内は伸長、米州は前年割れ
    - ・欧州は為替影響を除くと増収
    - ・連結売上高の約28%を占める
  - 孔版事業(デジタル印刷機)
    - ・先進国を中心に減収

## 平成22年3月期決算総括(2)

---

### 売上総利益率が向上、販売管理費の大幅減少

- 売上総利益: 384億1600万円
  - 売上総利益率は49%、前期より1.4ポイント増加
  - デジタル印刷機の単色機生産を中国に移管、高速カラープリンターの新製品の投入効果などによる原価低減
- 販売管理費: 367億4600万円
  - 前期比約40億円減少
    - ・人件費: 人員減、定期昇給凍結など
    - ・経費: 固定費の削減、広告宣伝費削減、  
研究開発費減少

# 平成22年3月期決算総括(3)

---

## 2期ぶりに営業黒字だが、当期純損失を計上

- 営業利益：16億6900万円
  - 売上総利益は減少するも、販売管理費の大幅減により営業黒字確保
- 当期純損失：59億3700万円
  - 特別損失：63億8400万円
    - ・厚生年金基金脱退時特別掛金：約58億円
    - ・米国子会社の事業構造改善費用：約4億円
  - 繰延税金資産の取り崩し

# 平成22年3月期決算業績概要(1)

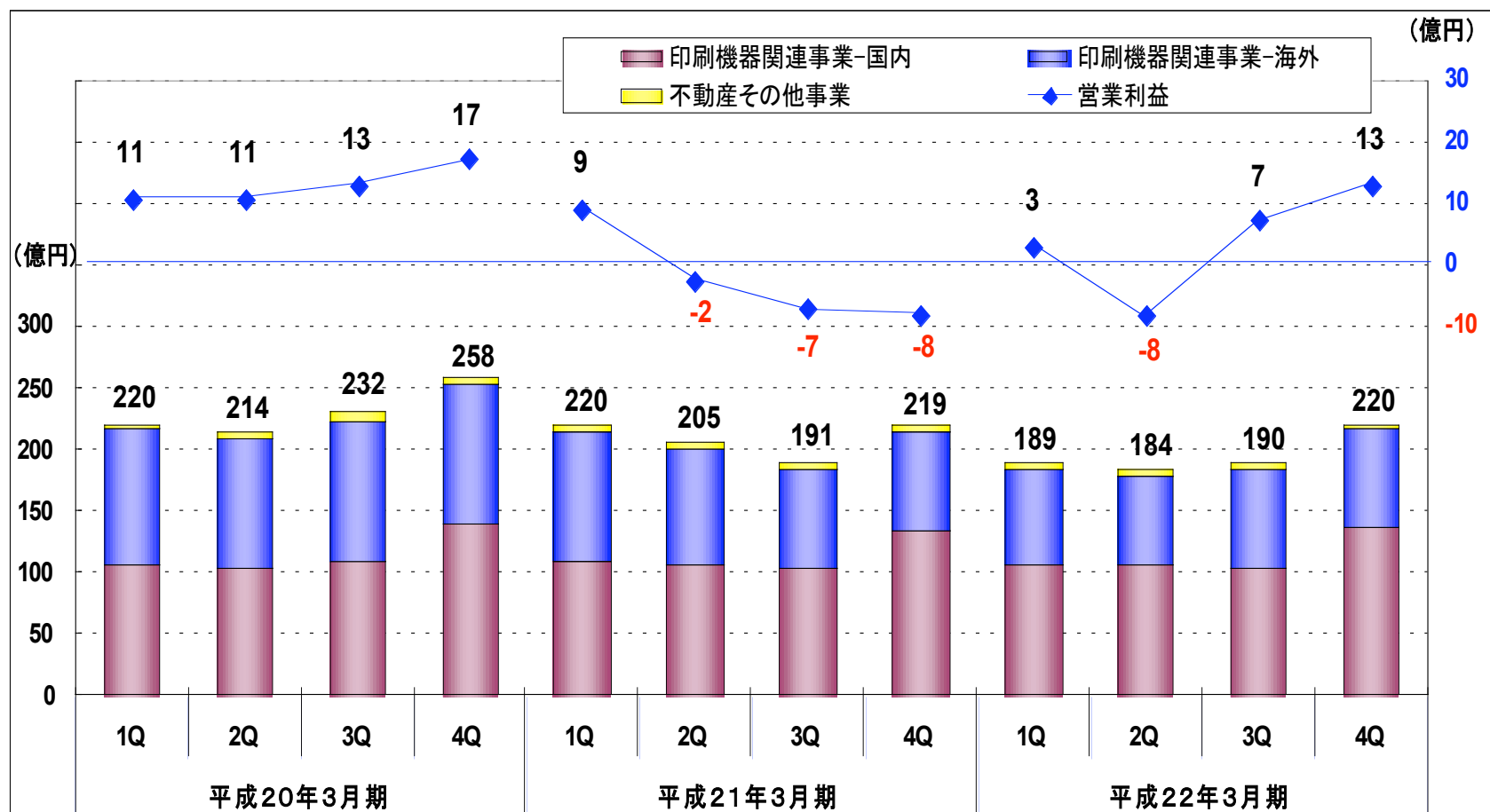
## 連結業績

(単位:百万円)

	平成21年 3月期	平成22年 3月期	対前年実績差異		前期レートで試算	
			金額	%	試算	為替影響
売上高	83,774	78,469	-5,304	-6.3%	81,002	-2,532
売上総利益	39,888	38,416	-1,472	-3.7%	41,186	-2,770
販売管理費	40,802	36,746	-4,055	-9.9%	37,885	-1,138
営業利益	-913	1,669	2,582	—	3,301	-1,632
経常利益	-695	2,113	2,808	—		
当期純利益	-641	-5,937	-4,664	—		
為替レート (期中平均)	円/US\$	100.54	92.85			
	円/EURO	143.48	131.15			

# 平成22年3月期決算業績概要(1)-1

## ■ 四半期別 連結売上高・営業利益推移(平成20年3月期～平成22年3月期)



# 平成22年3月期決算業績概要(2)

## 事業別売上高

(単位:百万円)

	印刷機器関連事業	不動産その他事業	合計
平成22年3月期	77,254	1,215	78,469
前期比(金額)	-5,350	45	-5,304
前期比(%)	-6.5%	3.9%	-6.3%
平成21年3月期	82,604	1,170	83,774



# 平成22年3月期決算業績概要(3)

## 地域別売上高

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成22年3月期	7,961	13,980	8,964	47,562	78,469
前期比(金額)	-1,949	-2,105	-1,014	-235	-5,304
前期比(%)	-19.7%	-13.1%	-10.2%	-0.5%	-6.3%
平成21年3月期	9,910	16,086	9,979	47,797	83,774

# 平成22年3月期決算業績概要(4)

## 地域別売上高 ー前期為替レートで試算

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成22年3月期	8,620	15,259	9,561	47,562	81,002
前期比(金額)	-1,290	-827	-418	-235	-2,773
前期比(%)	-13.2%	-5.1%	-4.2%	-0.5%	-3.3%
平成21年3月期	9,910	16,086	9,979	47,797	83,774

為替(期中平均レート)	1ドル	1ユーロ
平成22年3月期	92.85円	131.15円
平成21年3月期	100.54円	143.48円

# 平成22年3月期決算業績概要(5)

## 所在地別セグメント営業利益

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	消去	合計
平成22年3月期	-694	-276	515	1,040	1,084	1,669
前期比(金額)	-12	1,214	137	2,050	-807	2,582
平成21年3月期	-681	-1,491	378	-1,010	1,892	-913

(注)アジア代理店向けは日本に含まれます。

# 平成22年3月期活動サマリー

---

中期経営計画の最終年度となる当期の重点課題

- 高付加価値商品の販売による利益拡大
- 生産効率向上と購買力強化による原価低減
- 市場が求める高付加価値商品の開発企画を促進
- 重点課題への経費の集中的投下、他項目は徹底削減

# 平成22年3月期活動サマリー(1)

---

## ■ 高付加価値商品の販売による利益拡大

### (1) インクジェット事業(高速カラープリンター)

- 国内:平成21年2月発売のORPHIS Xシリーズの拡販が本格化
- 海外:平成21年7月から新ブランドCom Colorシリーズ(ORPHIS Xシリーズ)として発売開始
- ソリューション提案:バリアブルプリント用アプリケーションソフトとオルフィスの組み合わせによるDMプリントシステムを提案

### (2) 孔版事業(デジタル印刷機)

- A3判自動両面・同時2色印刷機(業界初)、RISOGRAPH MD6650Wを発売



ORPHIS X7200



RISOGRAPH MD6650W

## 平成22年3月期活動サマリー(2)

---

### ■生産効率向上と購買力強化による原価低減

- ・ リソグラフ(単色機)の生産を中国に移管  
— リソグラフの中国生産比率は90%に
- ・ 購買センターの効率化

### ■市場が求める高付加価値商品の開発企画を促進

- ・ 開発体制と商品企画プロセスの見直し

### ■重点課題への経費の集中的投下、他項目は徹底削減

- ・ 米国子会社の事業再構築の実行
- ・ RISO LATIN AMERICA設立、中南米の販路整備
- ・ 販売管理費は前期比で約40億円減少

# 中期経営計画“Riso Vision 10”の総括

---

## 第三次中期経営計画 “Riso Vision 10”

(2008年:平成20年3月期～2010年:平成22年3月期)

### 【経営目標】

IJ事業・孔版事業において新規顧客の獲得を重要課題として取り組み

連結売上高 1,000億円

連結売上高営業利益率 10%

を目指す

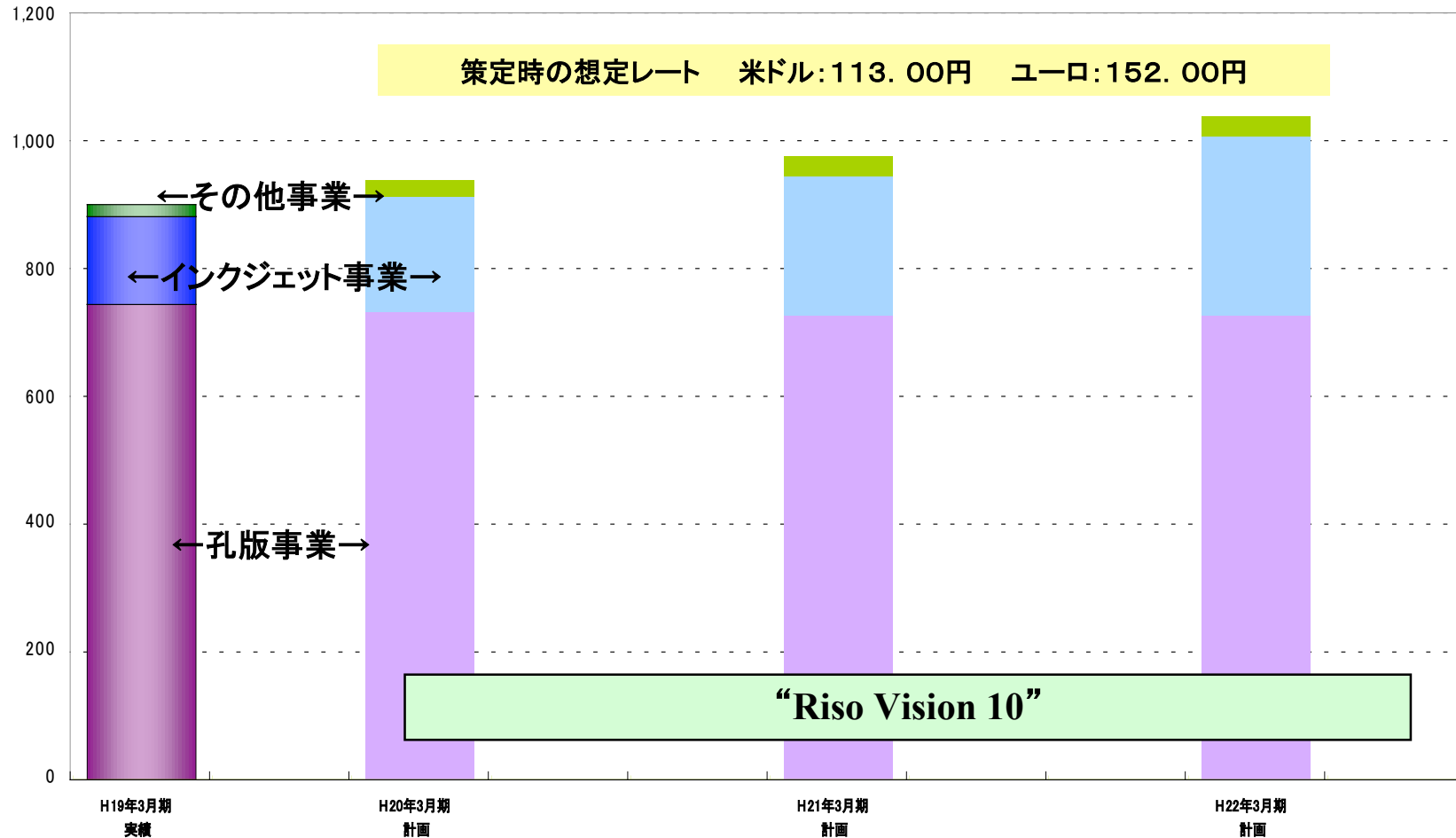
### 【基本方針】

1. インクジェット事業におけるハード設置の更なる加速
2. 孔版事業における新規顧客獲得
3. 新たな柱となる事業の創出
4. 事業環境変化を先取りした開発・技術・製造投資の実行
5. リーダー人材を創出する企業風土の醸成
6. CSR活動推進による企業価値の向上

# 中期経営計画“Riso Vision 10”の総括

## ■中期経営計画“Riso Vision 10” — 策定時 —

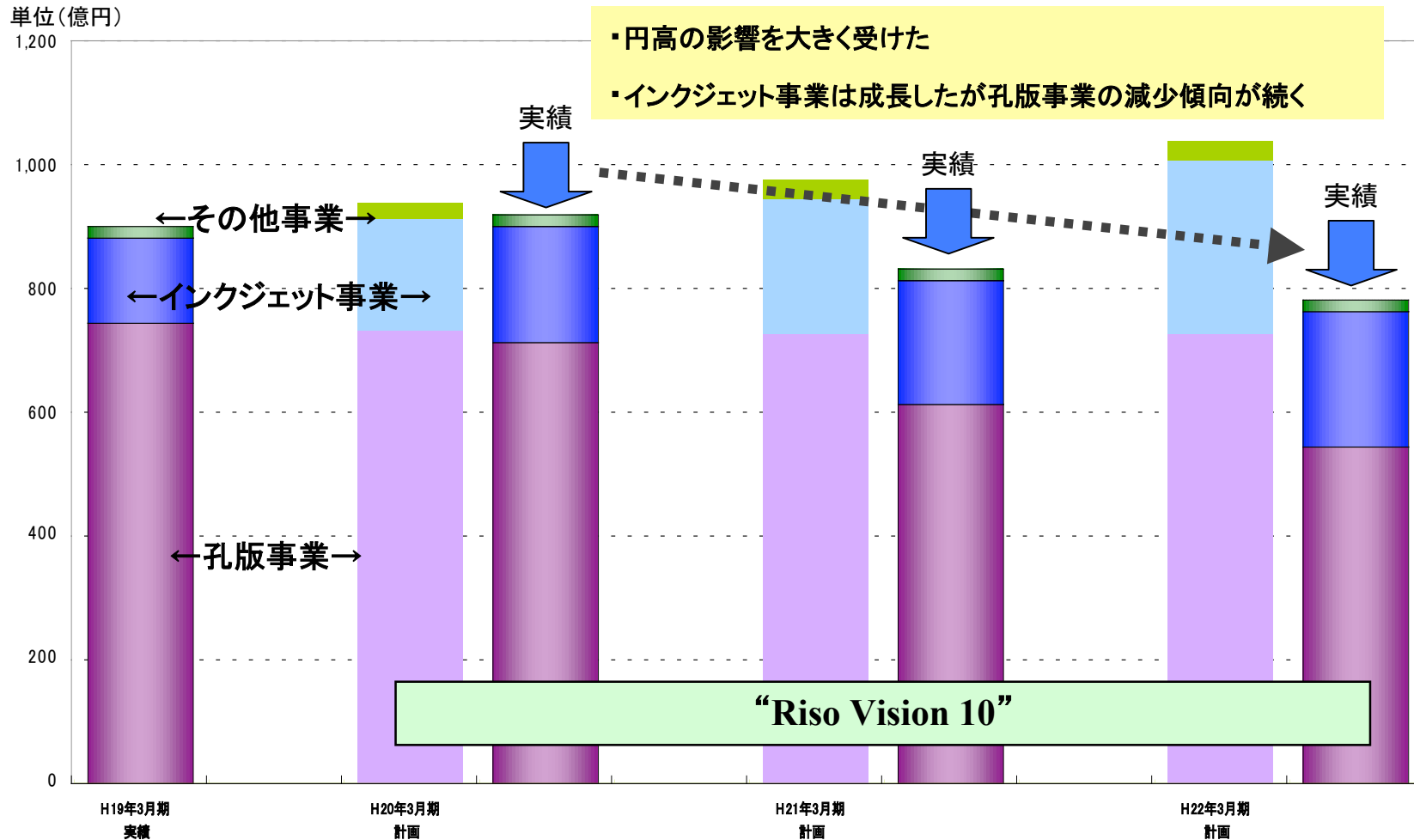
単位(億円)





# 中期経営計画“Riso Vision 10”の総括

## ■中期経営計画“Riso Vision 10”の推移



# 第四次中期経営計画“Riso Vision 13”

---

## 第四次中期経営計画 “Riso Vision 13”

(2011年:平成23年3月期～2013年:平成25年3月期)

### 【経営目標】

新規顧客の獲得による健全な成長を、経営資源の効果的な活用のもとに実現し、安定した利益体質を再構築する

### 【数値目標】

連結売上高 : 830億円

連結営業利益 : 25億円

### 【重点項目】

1. インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化
2. グローバルな商品企画体制・販売企画体制の構築
3. 生産体制・販管費構造のダイナミックな見直し

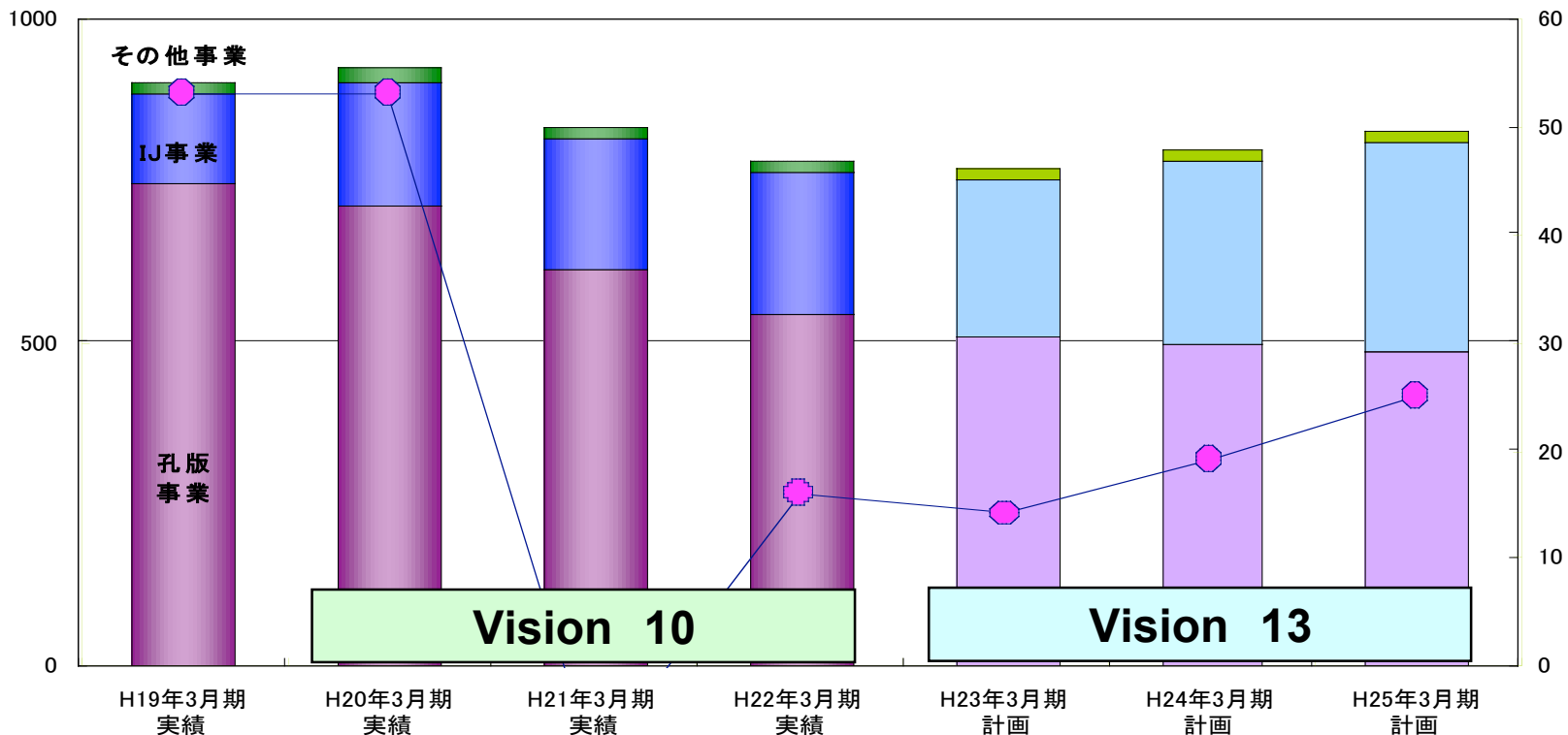


# 第四次中期経営計画“Riso Vision 13”

## ■第四次中期経営計画“Riso Vision 13”

売上高 単位(億円)

営業利益 単位(億円)



実績	H20年3月期	H21年3月期	H22年3月期
米ドル	114.28	100.54	92.85
ユーロ	161.53	143.48	131.15

想定	Riso Vision 13
米ドル	89.00
ユーロ	122.00

# 平成23年3月期の重点課題

---

## ■ 当社グループの対処すべき課題

- ・インクジェット事業の成長スピードを上げること
- ・減少傾向が続く孔版事業の維持・回復を目指すこと

## ■ 平成23年3月期の重点課題

- (1) インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化
- (2) 市場に適合する商品開発のための社内体制整備

# 平成23年3月期連結業績予想(1)

(単位:百万円)

	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 予想	対前年実績差異	
			金額	%
売上高	78,469	77,190	-1,279	-1.6%
営業利益	1,669	1,410	-259	-15.5%
経常利益	2,113	1,620	-493	-23.3%
当期純利益	- 5,937	1,570	7,507	—
連結ROE	-9.6%	2.7%		
売上高営業利益率	2.1%	1.8%		
為替レート (期中平均)	円/US\$	92.85	89.00	
	円/EURO	131.15	122.00	

## 平成23年3月期連結業績予想(2)－前提条件－

### ■ 想定為替レート

1ドル: ￥ 89

1ユーロ: ￥122

### ■ 為替変動によるインパクト(1円変動時/通期)

	売上高	営業利益
円/US\$	1億4,500万円	3,500万円
円/EURO	7,500万円	5,000万円

# 株主還元

